

生涯学習の基盤とスキルに関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



VALUE ルーブリックは、全米の大学を代表する専門教職員が、学習の成果に関する各大学のルーブリックや関連文書を調査し、教職員からのフィードバックを参考にして作成されたものである。このルーブリックは、段階的達成レベルを示す能力指標により、各学習成果の原則的な基準を示すものである。このルーブリックは、各大学が学生の学習を評価し考察する目的で使用されるものであり、成績をつけるために使用するものではない。この 15 の VALUE ルーブリックに示された学生に期待される能力に関しては、各大学、専門分野、コースに応じて、それぞれの解釈が可能である。VALUE ルーブリックは、学生の成果に関し共通の手段と理解を共有することで、すべての学部レベルの機関での学生の学習を、一つの基本的な期待レベルの枠組みの中で位置づけるためのものである。

定義

生涯学習とは、「知識、技能や技術、及び能力の向上を目的とした、全ての継続的な目的を持った学習活動である」。高等教育は、このルーブリックで示されている具体的な素質やスキルを大学在学中に身につけることで、学生がこのような学習者になるよう育てるための努力が求められる。(出典 The European Commission (2000). Commission staff working paper: A memorandum on lifelong learning. Retrieved September 3, 2003, from http://www.see-educoop.net/education_in/pdf/lifelong-oth-enl-t02.pdf.)

概要

このルーブリックは、生涯学習に必要とされるスキルや素質である「好奇心」「転移」「独立心」「自発性」及び「反省」を評価するために作成された。このスキルや素質を応用することにより、どのように生涯学習スキルを自身の数種類の課題や一連の課題に取り入れたかということを学生に振り返ってもらい課題を出すことにより、これらの指標を用いた評価をすることができる。学生の課題や一連の課題からはその学生の知識や能力を知ることができるのに対し、それらに関する学生の反省からは、その学生が何を考え、感じ、また把握しているのかということを知ることができる。反省を通して学生は自己の学習経験をどのように感じ、理解しているかが伝わるので、評価者は反省から学生がどのような人であるかということをよく理解することができる。読み手は、反省により課題や一連の課題を分析し、解釈することができる。反省はまた、選択肢の探求をしたり、将来の計画を考えることを可能にし、学生の成長や発達に関する証拠も提供する。このルーブリックには、授業外の経験を取り入れることを促すような課題が最も適しているかもしれない。

生涯学習の基盤とスキルに関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



定義

生涯学習とは、「知識、技能や技術、及び能力の向上を目的とした、全ての継続的な目的を持った学習活動である」。高等教育は、このルーブリックで示されている具体的な素質やスキルを大学在学中に身につけることで、学生がこのような学習者になるよう育てるための努力が求められる。

(出典 The European Commission (2000). Commission staff working paper: A memorandum on lifelong learning. Retrieved September 3, 2003, from http://www.see-educoop.net/education_in/pdf/lifelong-oth-enl-t02.pdf.)

単独の課題、または複数の課題を統合して、ベンチマーク（基準 1）に達しない場合は、0 点と採点することを推奨する。

	最終基準	中間基準		ベンチマーク
	4	3	2	1
好奇心	テーマを深く探求し、そのテーマに関する強い興味を示唆するような豊かな認識やあまり知られていない情報をもたらす。	テーマを深く探求し、そのテーマに関する興味を示唆するような知見や情報をもたらす。	テーマをそれなりに深く探求し、そのテーマに関する軽度の興味を示唆するような知見や情報をもたらす。	テーマを表面的に探求し、基本的な事実に関する情報以外は、ほとんど知見や情報を提供しないため、そのテーマに関する興味がほとんどないことが示唆される。
自発性	与えられた課題を完成し、知識、技能や技術、能力を高める機会を作り出し、追求する。	与えられた課題を完成し、知識、技能や技術、能力を高める機会を見出し、追求する。	与えられた課題を完成し、知識、技能や技術、能力を高める機会を見出す。	与えられた課題を完成する。
独立心	授業で与えられる課題以外で、更なる学習に関する関心や追求心があり、それを展開している。知識や経験を独自に追求する。	授業で与えられる課題以外で、新たな実のある知識を追求したり、独自の学習経験を積極的に追及したりする。	授業で与えられる課題以外で、新たな知識を追求したり、独自の学習経験を追及することに興味を示している。	授業で与えられる課題以外の学びに関心を持ち始めており、独自の学習経験を追及することに興味を示している。
転移	過去に学習したことに明確に言及し、新しい状況で、革新的な方法（新しく、創造的な方法）で、状況を理解し行動するための知識や能力を応用している証拠を示している。	過去に学習したことに言及し、新しい状況で、状況を理解し行動するために過去に身につけた知識や能力を応用している証拠を示している。	過去に学習したことに言及し、新しい状況で、状況を理解し行動するために、過去に身につけた知識や能力を応用することを試みている。	新しい状況において、過去に学習した内容に曖昧に言及するが、その状況を理解し、行動するために、過去に身につけた知識や能力を応用しない。
反省	これまでに学んだこと（過去の授業内外の経験）を深く振り返ることにより、学習経験や人生経験に関するこれまでの視点と大きく異なった視点を得ている。この新しい視点は、長年にわたる知識の拡大、成長、そして成熟の基盤となる。	これまでに学んだこと（過去の授業内外の経験）を深く振り返ることにより、学習経験や人生経験に関する完全に明確化された意味を見出しているか、あるいはそれらの経験に関する視野を広げている。	これまでに学んだこと（過去の授業内外の経験）をそれなりに深く振り返ることにより、学習経験や人生経験に関する僅かに明確化された意味を見出しているか、あるいはそれらの経験に関する視野をやや広げている。	これまでに学んだこと（過去の授業内外の経験）を表面的に振り返るだけで、学習経験や人生経験に関する明確化された意味を見出しておらず、それらの経験に関する視野を広げていない。